

## 生産システム技術系の教育訓練目標

現代社会において「ものづくり」はますます重要性を増してきているが、これを担う人材の育成は容易でない。技能・技術の世界においては、過去を踏襲するのみではこの問題を解決することはできない。今後の企業経営に際しては、製品等の高付加価値化や事業における新分野の展開を図ることが肝要である。このような状況下において必要とされる人材には、より高度で専門的であることと、柔軟性に富み、創造力や企画力を有し、行動力があること等が強く求められている。

生産システム技術系では、機械・電気・電子情報の各技術分野をそれぞれ専門とするのみではなく、企業の製品開発・製作の活動を想定したワーキング・グループ学習方式により、標準課題や開発課題に取り組むことで、職業人に必要な基礎能力のほか、これらの技能・技術を融合した「ものづくり」に必要な実行力、チームワーク力、コミュニケーション力、リーダーシップ力等を備えた生産現場をリードすることができる高度な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

### (1) 生産機械システム技術科の教育訓練目標

生産機械システム技術科は、機械加工や機械制御の専門的技術・技能を基にそれらを応用し複合化した領域で活躍できる人材の育成、並びに製品の企画・開発及び生産工程の構築・改善・運用・管理等に対応できる高度な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

### (2) 生産電気システム技術科の教育訓練目標

自然エネルギー利用技術、電動力応用技術、産業用ロボットの利用を含めた工場自動化技術の能力を養い、電気電子回路の設計製作を基本として、企画開発能力や生産管理能力及びプロジェクト推進能力を付加して、省エネルギー化や環境を考慮したシステムや製品の企画・開発から生産工程の改良・改善・管理等に対応できる高度な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

### (3) 生産電子情報システム技術科の教育訓練目標

プログラミングからシステム設計、ネットワーク構築などのICT技術に加え、複合電子回路やセンシングなどのハードウェア関連技術との融合を踏まえ、第4次産業革命に対応できる高度な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。